

**RUBY IS NICE
SO WE ARE NICE**

角谷信太郎(@kakutani)
RubyWorld Conference 2017 基調講演

Matz is nice so we are nice

we=Rubyist。 Rubyist
とは、“Rubyに対して
単なるお客さん以上の
気持を持っている人”

自分以外でRubyを使っている
人のことが気になって行動して
いるあなたはかなり Rubyistの
素養があります。いまの技術レ
ベルや知識は関係ないんです。

よろこそ

Matz is nice so we are nice

Ruby is nice so we are nice

nice / nais /

【「無知な, 愚かな(nescience)」 > 「細かい, 精密な」 > 「すてきな」】

副 nicely

形容詞 ~r; ~st

- 1 〈人・物・事が〉すばらしい, すてきな, うれしい, 愉快的な, 楽しい (❶ 味・におい・手触り・気候などにも用いる; nice-lookingなどの複合要素としても用いる); 【it is ~ to do/doing/that節】 ...することは[...できて, ...であることは]よい, うれしい; 【be ~ to do】 ...するのによい (❷ 主語はdoの意味上の目的語)
 - ▶ very [really] nice clothes ≒ nice enough clothes
ほんとにすてきな服
 - ▶ This meal tastes nice.
この料理はうまい
 - ▶ **It's nice that** you love us.
私たちのことを大切に思っていてくれてうれしいです
 - ▶ **(It was [It's been]) nice talking to [with] you.**
《話》お話しできて楽しかったです, [ごきげんよう](#)
 - ▶ He is nice [a nice person] to talk to. ≒ It is nice to talk [talking] to him.
彼は話していて愉快的な人だ (❶ 通例to doはこれからのことや一般論としての行為を, doingは進行中であったり完了した事柄を意識する).

語法

niceは幅広く話し手の好感を伝えるのに用いられるが, 意味が広範であいまいなため, 特に《書》では, たとえばbeautiful [fashionable, attractive] dresses, pleasant [perfect, enjoyable] daysなど, より明確な意味の形容詞に置き換える方がよいとされる。《話》では代わりにgreat, terrific, super, wonderful, excellent, 《主に英》lovely, 《英》brilliantなどが用いられることも多い(→good形容詞 1語法).

Matzがナイスなのはわかる (Matz いい奴)。しかし
Rubyがナイスとは…？ 昨日の基調講演をヒントに
考えてみましょう…

“Ruby”はプログラミング言語だけに限らない。ライブラリやフレームワーク、ツールやアプリケーション…みんなの持ち寄った“使う人にとっての良い感じ”の全体、それがRubyのナイス。

みんながRubyに持ち寄った成果がナイスだから私たちRubyistもナイスでいよう…あれ？ 成果を持ち寄っているのはRubyistでは？ Rubyistの成果がナイスだからRubyistはナイス？ RubyistがナイスだからRubyがナイスになる？ 無限ループかな？

Rubyのナイスさは、Rubyist
の持ち寄った“いい感じ”の全
体として、Rubyistが育ててい
く、という動的で自己言及的
な終わりの定まらない活動に。

RubyKaigi 2017のMatzの
基調講演は“Matz is nice”か
ら“Ruby is nice”へという
のが実際にはどんな風景なの
かを紹介してくれています。

…とはいえ、それはこの惑星で最強クラスのウデマエのスゴイ級ハッカーの話じゃんね…という気持ちはわかる。Rubyistに技術のレベルは関係ない、といつても技術の分野の話だしね…。

Ruby is nice so we are nice

2012年以降(この5年間に)、
Rubyを業務で使い始めた、“普
通の”プログラマーのみなさん
にやってもらえるといいんじゃない
かなと思っていますこと:

日中に、お互いに敬意を
もって率直に、仕事に関
わっている“気持ち”を話
す機会を継続的に持とう！

“非公式”でいい。やり方もどのようなものでも構わない。まずは30分からでも。“ふりかえり”、lon1、雑談、面談、ランチ…。プログラマー同士で始めてもいいし、(自分たちで手応えを感じたり、必要そうなら)プログラマーで閉じずにやれたらすごくいい。

Rubyはコンピューターに仕事を
をさせるためのプログラミング
言語であると同時に、プログラ
マーにプログラミングが“たの
しい”という気持ちを伝える“言
語”でもある(すごい!)

送り手が感じている気持ち
を受け手の心に再現させ
るための言語の使い方は
“詩”と呼べるのでは？

(ポエム)

Rubyがプログラミング言語を
メディアとして感情を届けたい
るように、“仕事”をメディアと
して感情を届けられているか？
(ポエムとしての仕事)

できている/できている
ない、強い/弱い、自
信がある/不安だ、悩ん
でいる/もやもやする

Rubyを使って業務や事業をおこなう機会はとてとてもとてとても増えました(よいこと)。しかし、Rubyのようにナイスな感情を仕事を通じて届けられている職場は同じだけは増えてはいない、と感じている。

だってまあ難しい
からね

Rubyはコンピューティングパワー
の増大とインターネットの普及
の過程で生まれ育った、自由な、
自然の、野生のソフトウェア
(Rubyはハッカー達がつくった)

“ビジネス”としてのソフトウェアづくりはどうしても人工的な環境になりがち。僕らハッカーじゃないし…(善悪の問題ではない)。

野生のソフトウェアである
Rubyのナイスさを人工
的な環境であるビジネス
の世界でハッカーならぬ
我々が“再現”する方法？

そこでアシジャイル/
リーンですよ

ハッカーとアジャイル

“

"What!?! That's obvious!" closely followed by "But Fowler explains it better than Unix traditions do..."

ハァ？ そんなの当たり前じゃん！
でも、よくまとまっている……（抄訳）

”

Hacking and Refactoring by Eric S. Raymond
<http://www.artima.com/weblogs/viewpost.jsp?thread=5342>

The New Methodology

新しい方法論

<https://www.martinfowler.com/articles/newMethodology.html>

- **Adaptive > Predictive**

事前の精度よりも現実への適応を

- **People > Process**

“人間”はソフトウェア開発の最重要コンポーネント

- **Self-Adaptive Process**

プロセスはフィードバックを通じて育つ

例えばScrumというアジャイルな仕事の進め方のフレームワークがある。これをナイスを届けるメディアとしてポエム化する
(透明性, 検査, 適応)

例えばLEANエンタープライズという壮大な構想がある。“ミッションコマンド”と“改善の型”をナイスを届けるメディアとしてポエム化する
(ターゲット状態、目的、最小限の制約)

Rubyを使って“たのしい”と感じられたときの受け手としての気持ちや、自分が仕事の送り手となったときに、それを受け手の心に“再現”することによって近づいているだろうか？

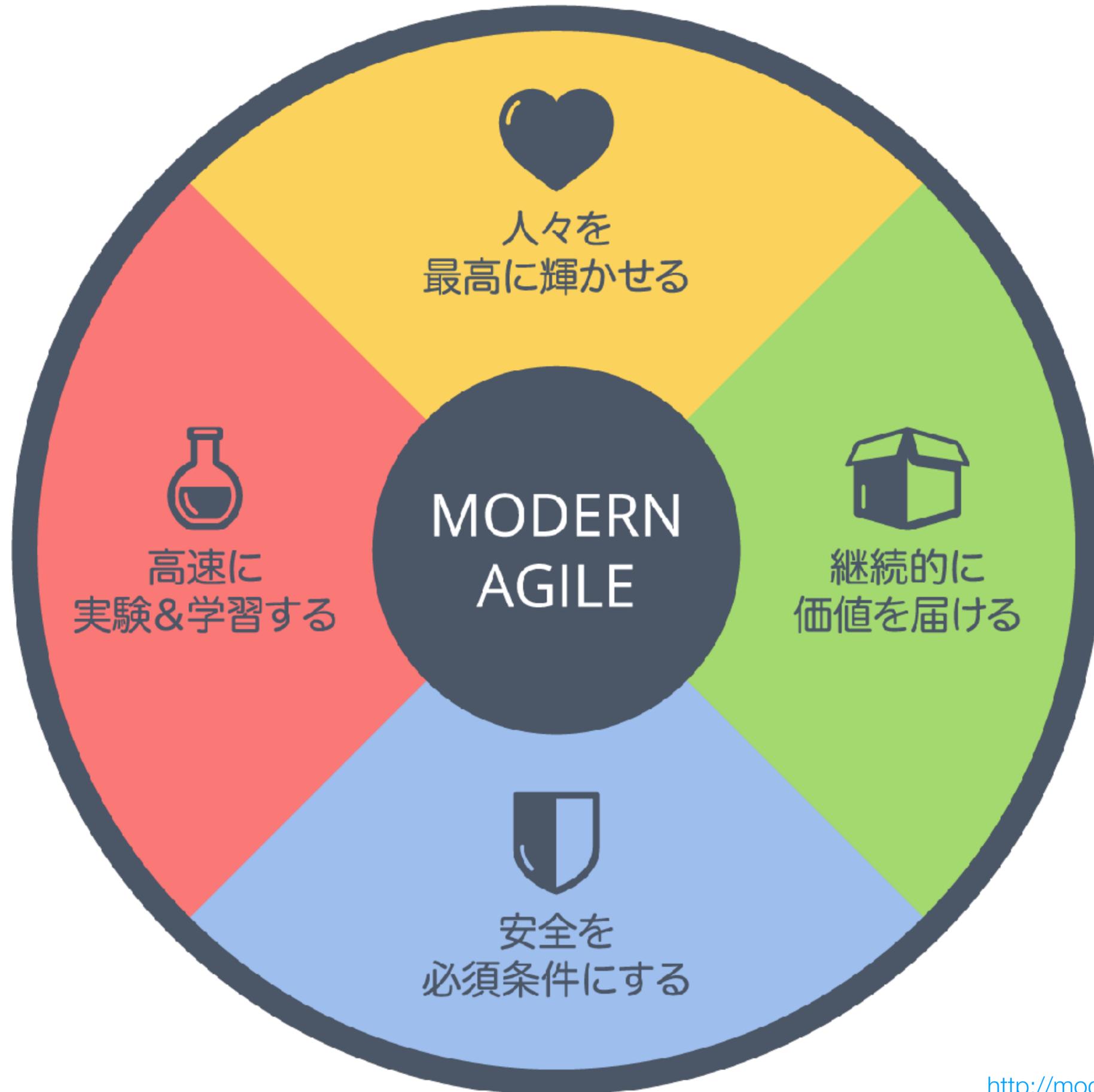
Rubyのナイスを届ける
メディアとしてポエム化
するという観点から先達
の言葉を眺めてみよう

“歯車の1つになった人間は、
仕事を楽しくできなない。仕事
が楽しくなるのは、仕事の全
体像が把握でき、仕事全体の
質に責任を持つ場合である。

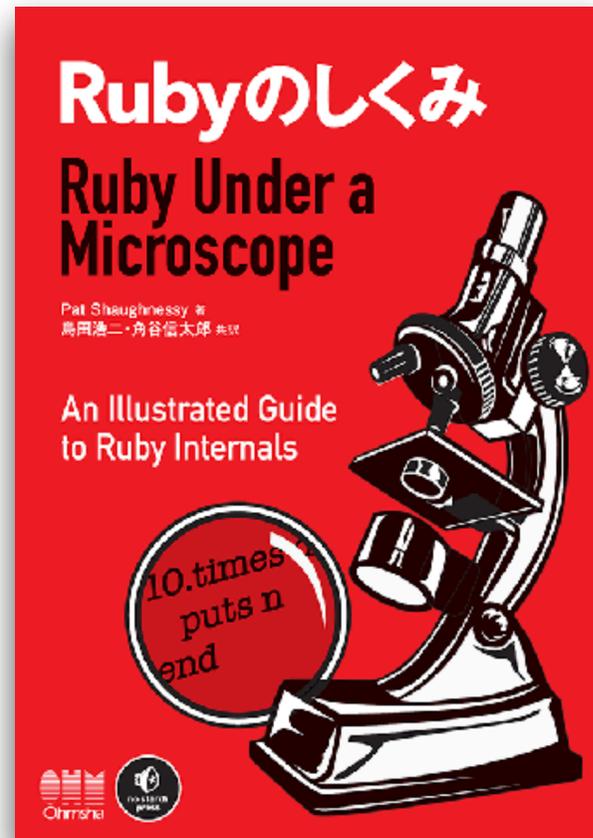
クリストファー・アレグザンダー 『パタン・ランゲージ』

“「楽しさ」にもビジネス価値があります——結局、モチベーションこそがプログラマの生産性を左右するのです。

マーティン・ファウラー「ダイナミックタイピング」
<http://bliki-ja.github.io/DynamicTyping/>



@kakutani



Rubyist-ist。

Rubyistが好き。

一般社団法人日本Rubyの会の理事。
草の根の日本のRubyistの活動に法人
格を与えている。Rubyリファレンス
マニュアル, Rubyist Magazine,
RubyKaigi, 地域Ruby会議,
RailsGirls Japanなどの活動を支援
する事業をおこなっています。

Rubyアソシエーションは一般財団法人。財に法人格を与えて、お金にいい感じに働いてもらってRubyの普及と発展のための事業をやっててすごい(個人の見解です)。



Rubyのナイスさは、Rubyist
の持ち寄った“いい感じ”の全
体として、Rubyistが育ててい
く、という動的で自己言及的
な終わりの定まらない活動に。

Rubyがプログラミング言語を
メディアとして感情を届けたい
るように、“仕事”をメディアと
して感情を届けられているか？
(ポエムとしての仕事)

日中に、お互いに敬意を
もって率直に、仕事に関
わっている“気持ち”を話
す機会を継続的に持とう！

Further Reading

いま、できるアジャイル (角征典):

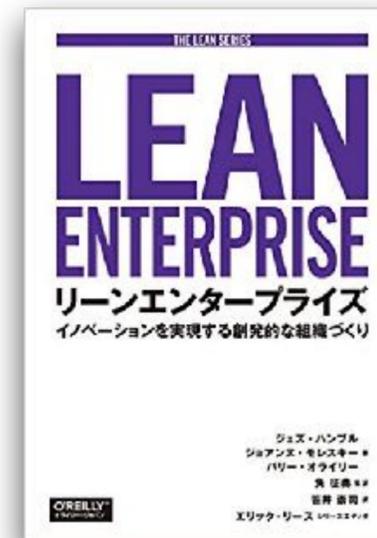
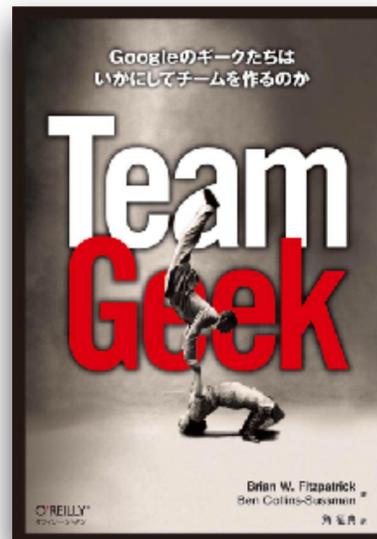
<https://www.slideshare.net/kdmsnr/20130808agilesapporo>

Rubyist入門 2015年版 (高橋征義):

<https://www.slideshare.net/takahashim/how-to-become-a-rubyist>

The Rails Doctrine (DHH):

<http://rubyonrails.org/doctrine/>



**RUBY IS NICE
SO WE ARE NICE**

角谷信太郎(@kakutani)
RubyWorld Conference 2017 基調講演